| 公益社団法人下京納税協会<br>近畿地方整備局京都国道事務所 |
|---|
| 資　　料　　配　　布 |

| 配布日時 | 平成２７年　９月　２日<br>１４時　００分 |
|---|---|

| 件　　名 | 京都府内で初！<br>国道１号「五条大橋（ごじょうおおはし）　橋洗い」の実施について<br>～クリーンアップ・シンデレラ大作戦～ |
|---|---|

**概　　要**

国道１号「五条大橋」は、日本の東西を繋ぐ私たちの大切な共通インフラです。また、その橋梁は、「牛若丸と弁慶像」が配され遠景に比叡山を臨み、京都の街を南北に流れる鴨川と一体となり美しい景観を織り成しています。

この度、公益社団法人下京納税協会（広報部会ほか）が、国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所と協働で、納税道義の高揚を目的に、地域貢献活動の一環として、五条大橋・橋梁の清掃・美化活動に取り組みます。

１．日　　時：平成２７年９月５日（土）午前９時３０分～１１時３０分
（雨天中止）
２．場　　所：五条大橋（国道１号）
３．実施団体：公益社団法人　下京納税協会
国土交通省　近畿地方整備局　京都国道事務所【共催】
４．参加予定団体：公益社団法人　下京納税協会
NPO うるわしのまち・みちづくり
国土交通省　近畿地方整備局　京都国道事務所
５．参 加 者：約４０名（予　定）
６．実施内容：雑巾がけによる欄干・擬宝珠（ぎぼし）の清掃他

※「橋洗い」とは

もともとは、東京日本橋界隈の地元有志の皆さんが、昭和４３年に明治百年を記念して、江戸繁栄の象徴である東京日本橋を中心とした繁華街の発展を願って名橋「日本橋」保存会を設立し当時の建設省東京国道工事事務所の協力のもと、橋の清掃を活動の中心に据えて始められたのが最初です。

その後、大阪などでも「橋洗い」の活動が実施されていますが、京都府内において、民官が協働で「橋洗い」を行うのは、今回が初めてとなります。

| 取　扱　い | ―――――――――――――――――――― |
|---|---|

| 配　布　場　所 | 京都市政記者クラブ |
|---|---|

**問い合わせ先**


〇公益社団法人 下京納税協会
専務理事　天野　貞祐
電話　０７５－３５１－５７３３
〇国土交通省 近畿地方整備局 京都国道事務所
副所長　　中藤　俊彦
管理第一課長　岡本　毅士
電話　０７５－３５１－３３００

# 五条大橋の概要

【位置図】

【概　要】

橋梁名：五条大橋
路線名：国道１号
所在地：京都市東山区～下京区
竣工年：1959年（昭和34年）
径間数：３径間
形　式：３径間連続鋼非合成鈑桁橋
橋　長：６７．２ｍ
幅　員：３５．０ｍ（６車線）
交通量：60,172台/日（H22道路交通センサス）

【写　真】

牛若丸と弁慶像

※平安時代の末に牛若丸と弁慶が五条大橋で出会ったとの伝説があり、このため五条大橋の西側に牛若丸と弁慶像のモニュメントが設置されています。

## 【公益社団法人下京納税協会の概要】　［参考］

下京納税協会は、昭和 19 年に「下京源泉納税報国会」として設立されて以来 70 年余にわたり、企業や事業主の立場に立って、「税」に関する最新情報の提供やアドバイスを行うことなどにより、税知識の普及に努めるとともに適正な申告納税の推進と納税道義の高揚を図るなど、公益性の高い事業活動を行っています。

また、会員の皆様が抱える様々なリスクを保証する福祉共済事業の充実を図るとともに、人材育成のための各種講座や講習会等の開催、会員同士の豊かな交流を育む異業種交流会の場を提供するなど、企業の発展に役立つ多彩な事業活動を行っています。

このように下京納税協会は、「税」に関する公益社団法人として幅広い活動により、企業及び地域社会の発展に貢献しています。

≪参考≫

下京納税協会は、昭和 51 年 1 月に社団法人、平成 23 年 4 月に公益社団法人にそれぞれ認可されています。

また、大阪国税局管内には 83 の税務署があり、その税務署ごとに納税協会があります。全国には 12 の国税局、524 の税務署があり、大阪国税局以外では、法人会や個人の青色申告会など別々の納税団体はありますが、法人と個人とが一体となった納税協会は、大阪国税局管内だけにある極めて貴重な組織です。

■「クリーンアップ・シンデレラ大作戦」について

今回の「五条大橋　橋洗い」については、公益社団法人下京納税協会の女性部会が企画発案し、国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所と共催で実施するものです。

「橋洗い」を実施するにあたり、公益社団法人下京納税協会の発案で、広く女性等が参加しやすく、親しみやすいネーミングとして「クリーンアップ・シンデレラ大作戦」としています。